



健康寿命延伸を目指した生姜の未利用部位有効利用

医学部 講師 小谷 仁司

加齢や様々な刺激により細胞老化が誘導され、老化細胞分泌因子を産生し、それは血中を巡り、様々な組織で機能障害を引き起こします。例えば、筋力や持久力の低下をはじめ、加齢性疾患や生活習慣病などの原因の1つとなっています。近年、老化細胞の除去により様々な組織における機能障害を改善する老化細胞除去薬が注目されています。我々は出雲市斐川町でも多く栽培されている生姜の含有成分に老化細胞除去活性を見出し、現在、健康寿命延伸を目指した研究を進めています。生姜の研究を進めるなかで、斐川町の栽培農家から生姜の提供を受け、可食部以外にも茎や葉、根などがたくさん存在し、それらのほとんどが畑に廃棄されていることを知りました。そこで、生姜の可食部以外の未利用部位の有効利用ができないかという観点から、未利用部位の機能性成分分析をおこない、未利用部位を用いた機能性商品開発を目指した産学官連携研究を現在おこなっています。

本研究により、健康寿命の延伸だけでなく、地域産業の活性化などにもつながる成果を出していきたいと考えております。

提供いただいた生姜と未利用部位の根

